企業・団体名（　㈱丸二ちきりや　長野支店　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	コンプライアンス研修を行っている。定期的に理解力テストを行い意識を高めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント防止の為に外部機関に匿名で通報することができる内部通報窓口を設けている。コンプライアンス研修、社内ポスター等にて啓発活動を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	社内業務監査及び労働基準法により経営者も含め内容を共有している。就業規則に勤務時間を明記している。「時間外労働協定」で決められた範囲内を厳守し過度な労働時間にならないようにしている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	今後の雇用した場合に備え調整を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全を確保する装備を整え、作業中の事故防止に取り組んでいる。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	不調を未然に防ぐ為、人間関係や仕事の質･量に特に注視し配属や仕事の分配を行っている。部門長は部下の状況を把握し、必要に応じて面接や相談にのるなど、気軽に話の出来る時間を作っている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	産休、育休、育児短時間勤務の取得実績があり、介護休やその他の特別休業についても細かく就業規則に定め取得し易くし、それぞれの立場の社員が活躍できる環境を整えている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	フォークリフト運転士･紙営業士･倉庫管理等の資格習得を進めている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働同一賃金の原則に沿えるよう個々の事情に合わせた対策に取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断（全額）、人間ドック(50%)、インフルエンザ予防接種費用（全額）を会社負担している。親睦会を開催し社員の健康促進に努めている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃パレットについてはマニュフェストにて適正処理を行っている。　断裁端材や段ボールを専門業者にリサイクル原料として供給している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電力デマンド装置を設置し電気代を可視化する事で省エネを意識している。水道、ガス、ガソリンの使用量を把握し、使用量の抑制に努めている。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	省エネ照明器具への切り替え、ハイブリッド自動車への切り替え、エンジンフォークリフトからバッテリーフォークリフトへの切り替えを進めている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	安全データシート等により確認。有害物質等使用した商品は取り扱わないようにしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	会社の周りの草刈り、側溝の清掃活動を行っている。会社周辺のごみ拾いを実施している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	残紙のリユースに取り組むと共に、カレンダーの無償提供にも取り組んでいる。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	冬季の長期休業の際は元栓を閉める、使用後は蛇口をキチンと閉めるように張り紙をして注意喚起している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	FSC森林認証紙取り扱い資格を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】SNS(インスタグラム、フェイスブック)にて環境への取り組みを情報開示予定。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電等を検討している。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	再生紙、FSC森林認証紙、グリーン電力紙、カーボンオフセット用紙、非木材紙等の使用、販売を行っている。会社の備品はなるべくリサイクル品、エコ品を使用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンスを徹底し汚職、収賄禁止の行動規範を整備している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンスを徹底し不正行為禁止の行動規範を整備している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許を侵害していないものを取り扱う事により他社の知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	マイナンバー等の個人情報は特定の者しか開けられない金庫にて管理している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	メーカーより製品安全データシートを入手し紛争鉱物の混入等が無い事を確認している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	関係各社のCSR報告書やホームページ等により確認をし、対話を通じて認識の共有を図っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	クレーム報告書等により情報共有を行い、安全性の高い製品とサービスを提供する体制を整えている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客からのクレームや要望を社内共有している。各部門のチェック体制を整えサービスの向上に努めている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境配慮型製品の提案を行っている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	脱プラ活動を念頭に環境に優しい紙化への推進を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域社会へ悪影響が出ない様に、トラック・フォークリフトの騒音・振動等に配慮している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	積雪の際は周辺車道（境目のない歩道の除雪）の美化清掃				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の人材の積極雇用に努めている。 長野県内の間伐材を使用した紙の提案をしている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念及び経営目標を社内で共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス冊子を配布し確認テストを実施している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	企業活動が外部に及ぼす影響に対して、管理本部が専門部署となり対応している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	売り・仕入れ先との対話により、その活動に関する影響を把握した上で対応するようにしている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	自然災害に関しては損害保険に加入している。取引先の倒産に備え貸倒引当金を計上し、ウイルスバスターやUTMにてセキュリティ対策を行っている。又、従業員による情報漏洩が起きないようにコンプライアンス教育をしている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	周辺地域の美化活動や、障がい者福祉施設へ積極的に仕事依頼することを通じて貢献している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】リスク管理を洗い出している作業中であり、今後計画を進める予定。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	親会社と連携の上で、検討している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17